

米須 義明

「第7回」越智文雄 meets
沖縄県商工会連合会会長

株式会社あかりみらいの越智文雄社長が、エネルギー・防災・地域経済などの幅広いテーマで安心安全な未来に向けた「気づき」を発信する連載「みらいを灯す」。第7回のゲストは、今年4月に3期目の続投が決定した沖縄県商工会連合会の米須義明会長です。



写真／村山望

国は中小企業をふるいにかけているのか？

電気代が上がった！

てしまった。

米須 それに加えて水道料金も上がるので、ダブルパンチですよな…

越智 水道料金にもポンプの電気代などが上乘せされているんですよ。電気と水道とNHKだけが「包括原価主義」。その値上げ分がこれから沖縄の物価に価格転嫁されてきます。この波をどう乗り切るのか、商工会さんにとっても政治家さんにとっても大きなテーマだと思います。

今こそ政治の出番！

米須 私は昨年からオキナワグラフで「早く準備しないと大変ですよ」と訴えてきたんです。特に業務用電力は倍以上の値上げになった。電気代は北海道が日本一高く、沖縄も双壁なんです。沖縄の場合は国から補助金を取って県民と経済に値上げの影響を与えないよう頑張ってきたけれども、いよいよここで限界がきていますよね。

米須 エネルギー高、原価がどんどん上がってきている中での物価高。そこでまた今、賃上げの話が始まっています。われわれ中小企業の間では価格転嫁がなかなか進まない、そこに賃上げの圧力が結構あって。従業員を確保するための賃上げという

意味で、後ろ向きな「防衛的賃上げ」と言っているんですけども。

越智 人手不足がまたすごいことになっていきますからね。沖縄電力だってこの円安の中で石炭を輸入していますので、トリプルパンチというか悪いことの総ざらい。岸田総理は5パーセントの賃上げを謳っていますが、大企業のようにできるところはいいけれど、取り残されている中小企業との格差対策を取らないと。

米須 3万円賃上げしたとか夢のような話をどんどんしているけれど、中小企業が本当に5パーセントとか上げられるのかと。それを毎年続けられるのかという話ですからね。

越智 おっしゃる通りです。地域格差も大きい。東京や大阪の大企業はそれでいけるだろうけど、地方の中小企業やカツカツで食べている産業はどうするんだろうという視点が抜

けていますよね。

米須 会社が利益を出して、それを職員や従業員に還元するのが本来の賃上げのはずなんですけど、先に賃上げをしろと。売上があがらないままにそれやっていると、会社の体力が削られていくばかりですからね。今、国は大企業しか見ていないんじゃないかという気もしています。中小企業をふるいにかけているんじゃないかと。

越智 コロナの時には商工会の会員企業さんの数は減りました？

米須 いえ、逆に増えたんですよ。「困った時の商工会」。補助金や給付金を求める企業さんが急増して忙しかったですね。県全体で2万1000社から2万2000社くらいまで増えました。もちろん、畳んだ会社さんもありました。後継者がいない。黒字で事業を畳むという人も沖縄には結構いらっしやるんで…この「黒字廃業を出さない」というのも、われわれ商工会が取り組んでいる課題の一つです。

越智 電気料金、転嫁しなきゃ生き延びられない。でも、それによって物価高になり、支出が増えて…給料を上げれば企業経営が苦しくなる

米須 だからまずは「生産性向上」なんです。AIやDX、機械化も含めて。今度、国が「カタログ式のD

X」ってやるんです。

越智 「選びなさい」ですか？

米須 そうです。ロボットの配膳とかを全部カタログに載せて、経費の2分の1を補助するっていう仕組みを始めるみたいです。

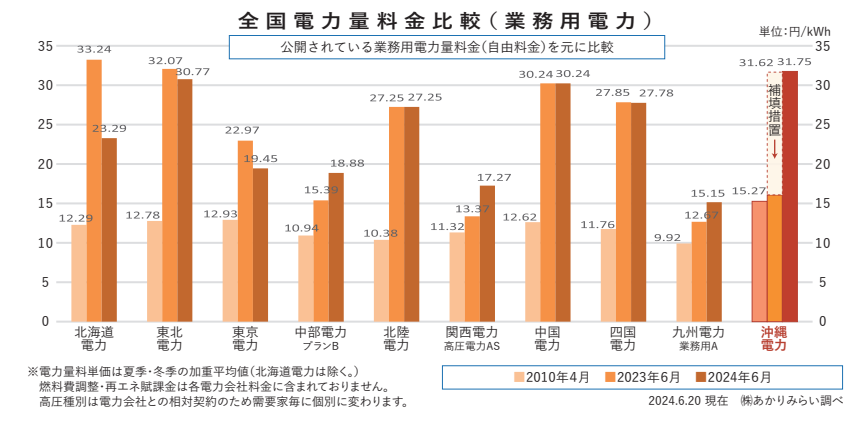
越智 そういうところに沖縄オリジナルのDXがあればね。それも政治力ですよ。今こそ政治力を使ってくれないと救われない。政治家さんって困っている人たちを救うためにいらっしやるし、県議選の結果はどう出るか（収録は5月30日）。

沖縄の灯りを護る！

越智 昨年11月に締結された水銀水俣条約のせい、2027年12月末日をもって蛍光管の製造が禁止になりますので、それまでに県内すべての照明をLEDにしなければならぬと最悪、照明が点かなくなります。

米須 民間企業にとっても大問題です。「省エネ工事は3分の1補助」みたいな制度は、今はもうないんですね。

越智 LEDというのは本来「補助しなくても普及できる」という認識なんです。実際はビル1棟LED化するのだから、銀行が資金を貸してくれなかったらダメ。特に沖縄とか北海道の場合は物流の端っ



沖縄県商工会連合会が入居する沖縄産業支援センター

株式会社あかりみらい
akarimirai

お問合せはこちら
0120-760-814 あかりみらい 検索

フリーダイヤル受付（平日9時～17時30分）

【沖縄支社】沖縄県那覇市久茂地2-19-5
【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌ビル4階
【東京本社】東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大業ビル7階

みらいを灯す

GUEST

米須 義明
Yoshiaki Komesu
沖縄県商工会連合会 会長

1965年、北谷町生まれ。87年、琉球大学法文学部卒業。同年、宜野湾スポーツセンター（ギノワンボウル）取締役就任。89年、北谷ゴルフ練習場（現・北谷スポーツセンター）常務就任。2005年、同社社長および那覇青年会議所（那覇JC）理事長就任。06年に北谷町商工会理事、13年に県内商工会では最年少（48歳）で会長就任。18年、沖縄県商工会連合会会長に就任（現在3期目）。



HOST

越智 文雄
Fumio Ochi
エネルギーコンサルタント
防災・危機管理アドバイザー

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。97年、電事連でCOP3に立ち会う。2008年、北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長。12年、株式会社あかりみらいを起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。「日本の灯りを護る会」代表、日本除菌連合会長、（一社）次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事。